

2 小惑星リュウグウが教えてくれる太陽系・地球・生命の不思議

2020年の暮れに小惑星探査機「はやぶさ2」が、地球に近い軌道を公転する小惑星リュウグウの表面で採取した砂を地球に持ち帰りました。その分析の成果がいよいよ公表されつつあります。この講座では、はやぶさ2の初期分析チームリーダーによる最新結果の紹介をはじめ、小惑星と私たちのつながりや、地上からの望遠鏡を使った観測でわかった小惑星リュウグウの素性などを紹介します。

会場 オンライン：Zoom

時間 16：00～17：15

定員 オンライン：300名

対象 どなたでも

受講料 無料

申込方法 郵送・Web

申込期限 10/6（木）

地球の原料を太陽系小天体の天体観測で探る

講師：宇宙科学センター 教授 川端 弘治

第1回

10/15（土）

16:00～17:15

太陽系には惑星に加えて、小惑星や彗星のような小天体がたくさん存在しています。これらの小天体は、地球や私たち生命の原料となった物質が、当時の状態を保ったまま存在していると考えられます。広島大学東広島天文台ではリュウグウをはじめとする小天体の観測も行っています。これらの観測でわかってきた太陽系の不思議をお話しします。

小天体サンプルリターン[前編]：意義とその歴史

講師：大学院先進理工系科学研究科 教授 藪田 ひかる

第2回

10/22（土）

16:00～17:15

探査機で小天体を目指し、到着した天体の砂や石を採取して地球に持ち帰り、化学的な手法で天体試料を分析する探査のことを「サンプルリターン」といいます。私たちはなぜサンプルリターンを行うのでしょうか。隕石の研究や、小天体観測とは、どのような点で異なるのでしょうか。この回では、過去に行われたアメリカの彗星塵サンプルリターン「スターダスト」、小惑星イトカワの微粒子をサンプルリターンした日本の「はやぶさ」の成果を解説します。

小天体サンプルリターン[後編]：「はやぶさ2」が持ち帰ったリュウグウのサンプル分析から何がわかったか

講師：大学院先進理工系科学研究科 教授 藪田 ひかる

第3回

10/29 (土)

16:00~17:15

2020年12月に探査機「はやぶさ2」が、5グラムを超える小惑星リュウグウのサンプルを地球に持ち帰りました。JAXAによる初期記載からリュウグウは水と有機物を含む天体であることが報告されました。2021年夏からは、国内外の研究者300名以上からなる初期分析チームによって詳細な化学分析が行われています。46億年前の“玉手箱”をあけて明らかになった、リュウグウからのメッセージを、皆さんにお届けいたします。

講座内容に関する
お問い合わせ先

学術・社会連携部 地域連携部門

電話:082-424-5691

メール chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp